



1. はじめに

今年も、11月を「素形材月間」とし、素形材団体が集中的にイベント等を実施しました。

この月間は、素形材が生活や産業に密接なものづくりに欠かせないものであり、素形材産業の重要性を広く社会にご理解いただくため、各業界団体が連携した集中的な普及活動を平成7年度から経済産業省が主導し実施してきたものです。今年が23回目の素形材月間となります。

素形材月間の活動の中核となっているのは、素形材センターに設置されている「素形材団体交流委員会」の参加団体で、同委員会では素形材月間事業を含め、素形材分野で必要とされる情報の交換やより広く認知されるための活動を行っています。各団体が、期間中に各種イベントを集中して開催し、素形材月間を盛り上げる活動を行いました。例えば、11月6日は日本鋳鋼会「表彰式」、11月6日～9日は日本粉体粉末冶金協会「秋季大会」、11月15日～17日は素形材センターの「TECH Biz EXPO2017」への出展、11月24日は日本金型工業会の「第44回金型の日記念式典」、11月28日は日本ダイカスト協会の「亜鉛ダイカスト年間大会」、11月28日・29日は型技術協会「型技術ワークショップ2017」、11月30日は日本鍛造協会「表彰式」など、関係団体が、経済産業省及び中小企業庁の後援を得て様々なイベントを実施しています。

経済産業省では、昨年まで「ものづくり 日本を支える素形材 経済産業省」の懸垂幕を経済産業省庁舎に掲示していましたが、懸垂幕の掲示そのものが廃止され、今年は、経済産業省の屋外（外務省側）、本館及び別館内（1階ロビー）の三か所に新たに設置された、電子掲示板のディスプレイ、いわゆるデジタルサイネージによる広報掲示が行われました（写真1）。



写真1 経済産業省屋外の電子掲示



写真2 素形材月間ポスター

素形材センターでは、本年も、11月の素形材月間に向けた様々な取り組みを実施しました。10月には、プレイベントとして特別セミナー「ものづくりの原点－素形材技術セミナー」を開催し、各界の権威を招いて幅広く素形材技術に関する講演を行っていました。また、11月の記念式典に向けた各表彰委員会における各賞選定作業、素形材団体交流委員会での月間のイベント情報の確認や意見交換など、

関係委員の方々には準備活動を含め様々なご協力をいただきました。そのほか素形材月間の周知活動として、昨年度に表彰された素形材産業技術賞の経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞、素形材センター会長賞を表示したポスター作成による表彰のPRや各業界団体のイベント情報のHP掲載等の広報活動を行いました（写真2）。

2. 素形材月間記念式典

11月10日（金）に第23回の式典を東京都の機械振興会館大ホールで実施しました。例年は11月の第一金曜日に開催していますが、本年は第一金曜日の11月3日が祝日のため、第二金曜日の10日に開催しました。平成30年は第一金曜日の11月2日に開催する予定です。

式典は14時から開始し、素形材センター横川会長の挨拶後（写真3）、来賓の経済産業省及川大臣官房審議官（写真4）と業界を代表して日本金属熱処理工業会の原会長（写真5）から祝辞を頂戴しました。

続いて、素形材産業貢献表彰が行われ、各表彰の冒

頭に、松野技術賞選考委員長、江口優良従業員表彰選考委員長から選考経過の報告をいただき、素形材産業技術表彰、素形材産業優良従業員表彰、久保田長太郎賞、西村茂賞の順に表彰状等が授与されました。

技術賞は経済産業大臣賞1件、中小企業庁長官賞1件、経済産業省製造産業局長賞2件、素形材センター会長賞3件、奨励賞7件となっており、大臣賞と製造産業局長賞は経済産業省の及川大臣官房審議官から、中小企業庁長官賞は中小企業庁の師田技術・経営革新課長から、会長賞は横川素形材センター会長から表彰状が授与され、奨励賞の受賞者の紹介も行われました（写真6、7）。



写真3 横川素形材センター会長による開会挨拶

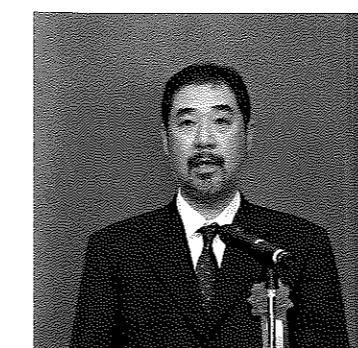


写真4 及川経済産業省
大臣官房審議官



写真5 原日本金属熱処理工業会
会長



写真6 経済産業大臣賞授与

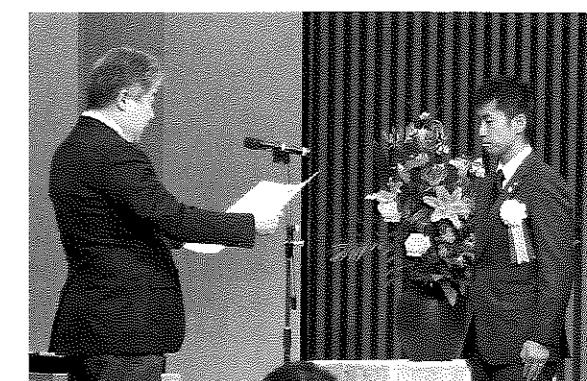


写真7 中小企業庁長官賞授与

優良従業員表彰（24名）は、横川素形材センター会長から表彰楯が授与されました（写真8）。また、優良従業員表彰の受賞者の中から、特に鑄物関係で貢献され他の模範となっている方を、久保田長太郎



写真8 優良従業員表彰



写真9 久保田長太郎賞



写真10 西村茂賞

3. 記念講演

表彰式終了後、15時から記念講演が開始されました。講師は、玉井日出夫氏（愛媛県美術館館長、玉川大学芸術学部客員教授、元文化庁長官）です（写真11）。

玉井先生は、東大学生俳句会、東大ホトトギス会といった伝統俳句の世界でも活躍されていた方で、こよなく日本文化、伝統を愛されており、今回のご

講演は、「日本人の感性、美意識—クールジャパンと伝統文化」と題して、ものづくりを元気にするお話をいただきました。

玉井日出夫氏の講演内容については、素形材誌1月号に掲載する予定です。

記念式典は、素形材産業貢献表彰式と記念講演が終了し、滞りなく閉会を迎きました。

最後に、素形材センター村井副会長の閉会挨拶で式典を終了しました（写真12）。



写真11 玉井日出夫氏



写真12 村井素形材センター副会長

賞、西村茂賞として各1名が表彰され、両賞の表彰は、ご親族の久保田保様（写真9）と西村恭二様（写真10）からそれぞれ授与されました。

4. 祝賀会

16時半から、受賞者を囲んで祝賀会を行われました。開会に際しては、素形材センター 橋本評議員（政策研究大学院大学名誉教授）（写真13）、経済産業省岡本素形材産業室長（写真14）に受賞祝いのご挨拶をいただきました。また、祝賀会の中では、受賞され

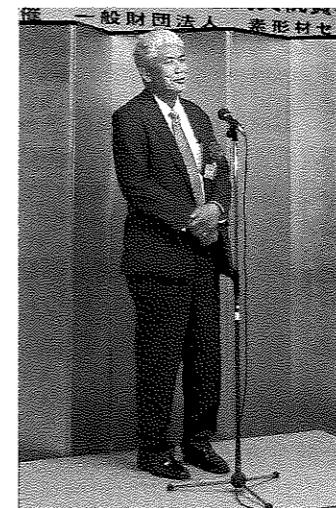


写真13 素形材センター 橋本評議員
(政策研究大学院大学名誉教授)

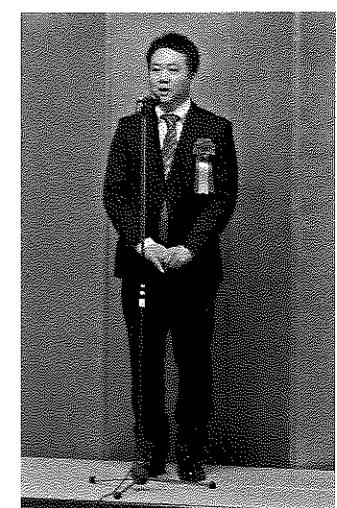


写真14 岡本経済産業省素形材産業室長

5. おわりに

素形材産業貢献表彰を受賞された皆様に、改めてお祝い申し上げますとともに、引き続き、我が国の素形材産業の発展に向けての更なるご活躍を祈念いたします。また、素形材月間記念式典の実施に当たり、ご支援ご協力を賜りました、経済産業省、中小企業庁、各表彰委員会、素形材団体交流委員会及び関係団体の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年の「素形材月間」も終了しましたが、我が国の素形材産業を取り巻く状況は常に変化しており、

た方々からもご挨拶をいただき、多くの方々の喜びの声をお聞きすることができました。受賞者との懇談など、話題が尽きることなく、式典の締めくくりとして相応しいものとなりました。